

Nara National Museum

奈良国立博物館

だより

第 **101** 号

平成29年 4・5・6月



重要文化財 阿彌陀如来立像 (奈良・東大寺)

特別展

快慶

日本人を魅了した
仏のかたち

4月8日(土)～6月4日(日)
東・西新館

特別展
(予告)

源信

地獄・極楽への扉

7月15日(土)～9月3日(日)
東・西新館

名品展

珠玉の仏たち

通期開催
なら仏像館

中国古代青銅器

通期開催
青銅器館

「地獄・極楽と浄土信仰の美術」

奈良国立博物館では、この夏に1000年忌特別展「源信地獄・極楽への扉」を開催します。これに関連して今回の夏季講座では、源信が著した『往生要集』に説かれる地獄・極楽の世界をより深く理解するために、インドから日本中世に至る浄土信仰の歴史の変遷、地獄・極楽図を中心とする浄土教美術の諸相について、様々な研究分野の第一線で活躍の先生方をお招きし、ご講演をいただきます。

- 【開催日】 8月23日(水)～25日(金)
- 【主催】 奈良国立博物館
- 【会場】 奈良県文化会館 国際ホール
(近鉄奈良駅から徒歩約5分)
- 【受講料】 3,500円(会場費、テキスト代などを含む)
- 【定員】 600名
- 【応募方法】 往復はがきによる郵送に限ります。

- * 往信用はがきに「夏季講座参加希望」と書き、
[氏名(ふりがな)・住所・郵便番号・電話番号・性別・年齢]を明記してください。
- * 返信用はがきには宛名・住所を記入してください。
- * はがき1枚につき1名のみのお申し込みとなり、2枚目以降は無効となります。
- * 受付期間: 5月15日(月)～6月5日(月) 必着
- * 受付開始日以前に到着したはがきについては無効とさせていただきます。
- * 応募多数の場合、抽選で決定とさせていただきます。
- * 6月16日(金)までに返信用はがきにて受入の可否及び受講料の振込口座をお知らせいたします。
- * お振込が完了した方のみ受講証をお送りいたします。

【申込先】 〒630-8213 奈良市登大路町50
奈良国立博物館 学芸部教育室

*スケジュール等の詳細は、チラシや当館ホームページにてお知らせいたします。

◆特別展「快慶 日本人を魅了した仏のかたち」にて6月4日まで展示

(当館学芸部主任研究員 山口隆介)

本人が思い描いた仏の理想像というにふさわしい。

肉身のまるみや動勢に呼応する衣のゆらめきが見事に表現される。日

量感を減じて端整さが加味され、美しく整えられた衣文線によって

こされた。

し、貞慶を導師として供養がなされ、承元二年(一一〇八)に截金がほと

ぶ阿弥陀如来立像、いわゆる「三尺阿弥陀」の代表作。建仁三年に造立

快慶が生涯に数多く手がけた像高三尺(約九〇cm)前後の来迎印を結

重要文化財
阿弥陀如来立像

快慶作
像高九八・七cm
鎌倉時代 建仁三年(一一〇三)
奈良 東大寺

〔表紙写真解説〕

美術や歴史のこと、博物館の活動など、当館ならではの多彩なテーマ、日頃聞くことの出来ない「通(つう)」なお話をご用意して、皆様をお待ちしております。どうぞお気軽にご参加下さい。

■4月16日(日)

「文化財修理の現場から

～津波による被災紙資料を中心として～

大江 克己(当館学芸部研究員)

地震や津波などの災害は人々に多くの被害を与えます。文化財も同様で、被災した文化財には被害状況にあわせた修理処置が必要です。今回は、津波により被災した紙資料の修理についてお話しをします。

■5月21日(日) 「星曼荼羅の源流をめぐって」

谷口 耕生(当館学芸部教育室長)

人の運命を司るとされる夜空の星々に対する信仰は、星曼荼羅(北斗曼荼羅)と呼ばれる特殊な密教画像を生み出しました。その図像上の源泉を、中国の星宿神図像の中を探ります。

■6月18日(日) 「奈良時代の福祉制度」

野尻 忠(当館学芸部企画室長)

奈良時代には、律令法に基づく様々な福祉制度がありました。障害者への税の減免、高齢者や重度障害者を介護する家族への減税措置、稲の不作時における税の免除、災害時の緊急食料支給など。これらについて、制度と実態の両面から概観します。

■7月16日(日) 「春日野の星」

清水 健(当館学芸部工芸考古室長)

星占いでおなじみの十二星座は、実は日本の古美術の中にも時折顔を出します。今回は当館の所蔵する春日龍珠箱に表された十二星座(宮)について、その信仰や図像に迫ります。

■8月20日(日) 「道宣と元照～その肖像画制作について～」

伊藤 久美(当館学芸部研究員)

中国の律宗の一派、南山宗を開いた道宣(596～667)と、それを復興した元照(1048～1116)。鎌倉時代以降、この二人の肖像画が奈良を中心にいくつも作られました。その制作背景や絵の特徴を紹介します。

■9月17日(日) 「中国河南省の石窟寺院を訪ねて」

岩井 共二(当館学芸部情報サービス室長)

中国河南省には、洛陽の龍門石窟をはじめとして、中国仏教美術史上重要な石窟寺院があります。今回は河南省にある石窟の仏像から、北魏6世紀の名品を中心に紹介していきます。

【時間】 各回とも14:00～15:30 (13:30開場)

【会場】 当館講堂

【定員】 194名(先着順)

*聴講無料(入場には入場整理券が必要です)

*当日12:30から当館講堂前にて入場整理券(お一人様につき一枚)を配付します。配布は講座開始30分後で終了します。